

D-01

社会福祉法人愛護会

生き甲斐を保障する環境づくりを
お手伝いしています！

奥州市

社会福祉法人愛護会は、53年前、金ケ崎の保育園の設立から始まりました。「たった一人しかない自分を たった一度しかない人生を 本当に生きさせなかつたら 人間生まれた甲斐がないじゃないか」という、山本有三が著した「路傍の石」の一節を信条に、現在保育園と障がい者施設を中心に活動しています。グループホームの設立に先駆的に取り組んで来た歴史があり、規模も大きいため、利用者さんの様々な障がいの程度に対応することができます。現在女性が約300名、男性が約100名勤務しており、女性にとって働きやすい職場といえます。その実績は、育児休暇、介護休暇の取得率が100%であることから伺えます。また、「人を育てる」ことも心がけているため、様々なバックグラウンドの人が多く、中途採用の人もあります。働きやすさという観点でいうと、休みが多いことも魅力です。福祉の業界全体にいえませんが、現在「人材不足」が問題となっているため、人材の掘り起こしを主眼に置き、主に一般の方々への周知を意識して行なっています。



生活支援員
田村 友香さん

愛護会に入ったきっかけは、ボランティアとして利用者さんと関わらせてもらった時に楽しかったことです。挫折もありますが、その度にアドバイスをもらったりして、乗り越えてこれる職場環境が自慢です。

若手社員の声

D-02

学校法人 岩手医科大学 (附属病院 看護部)

想いに応える看護師でありたい

盛岡市

岩手医科大学附属病院は、岩手県唯一の特定機能病院（高度の医療を提供する能力を有すると国に認められた病院）です。

その中で、看護部は「やさしさと思いやりの心・倫理観をもって質の高い看護を提供する」という理念のもと、地域に根ざした医療を提供しています。

看護師はチーム医療のコアメンバーとして、その専門性はもちろんですが、豊かな人間力を磨きながら、日々働いています。新人看護職員においては、安心して第1歩を踏み出せるように、年齢の近い先輩職員が基本的な看護の指導やメンタル面のサポートを行う制度を設けています。

プライベートも、一人ひとりがイキイキとした毎日を送れる環境作りをバックアップし、たくさんの看護師が仕事のオンとオフを上手に切り替え、色々な楽しみを見つけてプライベートを充実させ、仕事への活力に繋げています。

また、看護師の多くは女性であり、結婚・出産・子育てとライフイベントの中で、仕事と育児を両立させ、専門職としてキャリアアップしなければなりません。看護部では、育児や復帰の不安を解消するためリーマターキングカフェを企画し、仕事と育児の両立を支援しています。



小児科病棟
佐々木美保さん

初めてユニフォームに袖を通した時は、「ようやく看護師として働ける」とワクワクしました。失敗もたくさんしましたが、何でも相談のしてくれる先輩のもと、一人で任される仕事も増え、成長を実感しています。

若手社員の声

D-03

岩手県立大学看護学部 母性看護学講座 母性看護学・助産学分野

ママの声から考えよう～岩手県の産後ケア～

滝沢市

現代社会における妊娠・出産・子育てを取り巻く背景には、地域交流の希薄化や核家族化による母親の子育てに対する不安感や負担感の高まり、産後に親世代から支援を受けられない家庭の増加等が挙げられ、産後うつや児童虐待の要因と考えられています。そのような中、国は「健やか親子21（第2次）」で「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」を基盤課題とし、地域レベルにおける支援強化を図るため、出産直後の母親への心身のケアや育児サポート等の支援と休息の機会を提供する「産後ケア事業」を推進しています。

年々生まれる子どもが減っている岩手県でも、安心した妊娠・出産・子育てのために、切れ目ない支援や産後ケア事業推進が求められます。そのためには岩手県で出産・育児をする女性のニーズを明らかにし、具体的な支援を検討する必要があります。

そこで私たちは、岩手県中部地区と盛岡市内のママたちを対象に、産後ケアニーズを調査しました。岩手県で子育てをスタートさせているママたちは、何に困っていて、どんな支援を求めているのでしょうか。このブースではママたちの声をご報告いたします。



D-04

岩手県立大学社会福祉学部

岩手県立大学社会福祉学部の教育系紹介

滝沢市

社会福祉学部は「社会福祉学科」と「人間福祉学科」の2学科で、5つの教育系（福祉政策・コミュニティ福祉・臨床福祉・生涯発達支援・福祉心理）からなる教育研究体制となっています。社会福祉という高齢者の介護や障がい者の支援などがよくマスコミなどで取り上げられています。福祉は人びとが抱える種々の生活問題に対して社会支援を行うのですが、高度化・多様化する問題を解決するために福祉の専門領域だけではなく法学、経済学、政策学等の社会科学分野をはじめ、福祉情報、福祉機器、住環境といった情報・工学・心理領域など幅広い研究分野と繋げて取り組んでいく必要があります。

これらの概要と共にこれまでに積み上げてきた教育の実践や研究業績の中から、いくつかをピックアップして紹介します。ここに示した写真は、視覚に障がいのある方のために設置している音響信号機の音源（スピーカ）位置と方向感にかかわる問題を、（岩手県内唯一の無響室で）実験的に検証している場面で



D-05

公益財団法人 いわて リハビリテーションセンター

雫石町

リハビリテーションは人生の再出発

いわてリハビリテーションセンターは、雫石にある「リハビリテーションを実践する病院」です。

それでは、質問です！

「みなさんのお爺さん又はお婆さん又は親戚の人が、脳卒中になってしまい急性期病院に入院した後、どうなるでしょうか」

答えは「リハビリテーション病院でリハビリ治療や介護方法を習得し退院する」です。

当リハビリテーションセンターの魅力は、『びかいちのチーム医療』です。

ピカチュウはいませんが、リハビリ認定医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護福祉士・薬剤師・栄養士・臨床心理士・医療社会事業士等国家資格を取得したメンバーが揃っています。職場の雰囲気は、明るい時と静かな時があります。

それは何故か？患者さんが機能回復してどんどん良くなっていく時は皆で喜びを分かち合うからです。

一方、障害の程度によってはなかなか進まない時があります。そんな時は、相手の気持ちになり寄り添った空気感を读める看護や介護をしています。障害があっても、その人らしい生活ができるよう支援を提供しています。



若手社員の声



看護師
前田さとみさん

患者さんが良くなってほしい、という共通目標に向かって、チーム一丸で取り組んでいます。行き詰まった時はみんなで考え解決に導いてくれます。先輩看護師の素晴らしい「看護」を直に感じています。日々成長です。

D-06

岩手県立病院

盛岡市 他

県下にあまねく良質な医療の均てんを

岩手県立病院は、岩手県民の安全・安心を守るため、岩手県内に20の病院と6の地域診療センターを設置しています。この設置数は都道府県立病院としては全国で最も多く、広い岩手県内のどこにおいても平等に医療が受けられるように、という思いが込められており、昭和25年の発足から現在に至るまで岩手県の各地域における医療の重要な役割を果たしています。

岩手県内にある9つの二次保健医療圏の中でそれぞれ中核的な役割を担い、救急医療、高度・専門医療、慢性期医療、回復期医療、精神医療など幅広い医療を提供しています。それだけに病院には医師や看護師をはじめとした薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、臨床心理士、医療社会事業士など数多くの専門職があり、このような多職種が働く職場はなかなかありません。

それぞれの専門職がひとつのチームとなり、それぞれの専門領域で自分の力を発揮することで県民の命を守っていく...とても重要でやりがいのある仕事がここにはあります。



若手社員の声



岩手県立中央病院
看護師
角館 麻莉奈さん

私は岩手の医療に貢献したいと思い県立病院に就職しました。地域医療を守るといっても重要な役割を担い、忙しい日々ではありますが、患者さんから「ありがとう」という言葉を頂いたときなどにやりがいを感じます。

D-07

厚生労働省 岩手労働局

盛岡市

ひと、くらし、みらいのために

岩手労働局は、厚生労働省(国)の岩手県における「総合的な労働行政機関」です。働く人のための、仕事の確保(職業安定行政)、労働環境の整備(労働基準行政)、職業能力の向上(職業能力開発行政)、雇用の機会均等確保(雇用均等行政)など、「働く」ということに関連する様々な行政分野において、人々が健康で安心して働き、多様な個性や能力を発揮できる職場をつくることともに、働く人々やその家族が豊かでゆとりある生活を送れるよう、地域のニーズにあった適切なサービスの提供ときめ細かな行政運営を展開しています。

岩手労働局の組織

- 労働局(総務部、雇用環境・均等室、労働基準部、職業安定部)
- 労働基準監督署(県内に7か所)
- ハローワーク(県内12か所(出張所含む))



若手社員の声



総務部総務課会計
第一係
伊藤 大樹さん

私は今、岩手労働局という組織の運営をサポートする業務に関わっています。組織が不便なく業務を行えるか否かが自分の仕事次第だと考えると、責任は重いですがやりがいを感じることもできる仕事です。

D-08

社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団

盛岡市

「いいな！のオモイを いいね！！のカタチに」

私たちの法人は、昭和46年に設立し、県内の障がい児・者の支援をはじめとした様々な福祉サービスの提供を通じて、地域のセーフティネットとしての役割を果たしてきました。現在、17カ所の社会福祉施設を運営し、利用される皆様の住まいや就労・余暇の支援、困りごとを一緒に考え、子どもから高齢者まで多様な福祉サービス事業を展開しています。また、県内の社会福祉法人のパイオニアとして、岩手の福祉をリードしています。

昨年度から「いいな！のオモイを いいね！！のカタチに」をキャッチフレーズに、福祉サービスを必要とする皆様の「あったらいいな！」というオモイを実現し、「いいね！！」と感じていただけるカタチあるサービスを生み出したいと取り組んでいます。私たちの変わらぬ思いが込められているこのフレーズのロゴマークは、採用2年目の若手職員がデザインしました。若者の「あったらいいな！」のアイデアを積極的に取り入れながら、笑顔と活力ある事業運営をしています。



若手社員の声



障害者支援施設
松風園
八重樫 佳奈さん

事業団に入職してから、日々利用者の方の豊かな生活を支援できる仕事にやりがいを感じています。また、各職員が好きなことや得意なことを生かして働くことができ、私自身も毎日充実した職場生活を送っています。

D-09

社会福祉法人カナン

「共に生きていく社会」の実現を

一戸町

「共に生きる社会」。今でこそこれからの社会のキーワードのように語られることばですが、カナンの園は45年前から、キリスト教理念としてそのことを掲げ、実現に向けて歩んできました。障がい児やそのご家族を支援する奥中山学園、特別支援学校の三愛学舎、働き場としてのカナン牧場、小さき群の里、シャローム、ウィズ、ヒソバ工房、となんカナン、そしてグループホームや相談支援事業所などを通じて、「全ての人が互いに尊重しつつ助け合って生きていく社会」の実現をめざしています。

今、世の中は混とんとし、不安と不信と不満に溢れ、そして何よりもそれを経済活動と直結して解決しようとする空気が満ちています。しかし、こんな時代だからこそ、互いの存在そのものに畏敬を持ち、「共に生きる社会」を実現していくのが「福祉に生きる」者の大きな役割だと思っています。

若い力、若い感性が集い、皆さんがイキイキと活躍する社会を一緒に創ってくださることを期待しています。



若手社員の声



奥中山生活支援部ののさわ事業所
木村 美咲さん

子どもに関わりたくて保育の専門学校に行きましたが、保育実習でカナンの園のステキな利用者さんや職員さんと出会い、ここで働きたいと思いました。私の存在を丸ごと受け止めてくれる方に囲まれ、毎日が幸せです！

D-10

共立医科器械株式会社

地域と共に歩む

理想的な医療支援に取り組んでいます

盛岡市

<私たちの役割>「あらゆる人々の健康を願い、明日の充実した医療の奉仕」との熱い想いを込め、1953年（昭和28年）に当社を創立して以来、私たち共立医科器械は、変わることなく、人々の健康を願い、充実した医療と科学への奉仕を目指しています。加速度的に発展するメディカル・テクノロジーや高齢福祉社会にあって、医療・福祉従事者の方々の頼れるスペシャリスト・パートナーとして、商品の提供はもちろん、情報の収集・分析から21世紀医療IT時代に対応するシステム提案・コンサルティングサービスまで、生命と健康を支える医療の最前線をトータルにサポートしています。新しいアイデアとユニークなサービス、そして創業以来変わることのない真心で、共立ならではのトータルシステム&ソリューションをフルに発揮し、新しい時代の地域医療の発展に努めています。信頼に込める喜び、品質で応える誇りを持って、私たちはこれからも日々挑戦を続けてまいります。

<採用情報>私たちは、あなたの「元氣」を求めています。「元氣であること」は、周りの多くの人に影響を与えます。あなたの同僚、上司、そしてお客様……。あなたと接する多くの方々がある「元氣」に触れることで、さらに元氣になっていきます。私たちは「明るく素直で元氣な人」を求めています。月並みかもしれませんが、そうゆう人ほど成長が速いものです。1人1人の社員の成長の積み重ねが会社の成長にもつながっていきます。

「仕事に前向きに取り組む元氣」、「新しいことにチャレンジする元氣」共立医科器械㈱はそんな元氣な人を応援する会社です。

<共立医科器械㈱の“キラリ”ここが強い！>

- ・地元の得意先様から頼られ、信頼され、絆を大事にする地元で根差した会社です。
- ・65年間、創業精神を維持しながらも新しいことにチャレンジし、人々の健康を願い充実した医療と科学への奉仕を目指しています。
- ・仕事の先に患者さんがいることを意識し、日々の営業活動に活かしています。



若手社員の声



メディカル
サイエンス事業部
熊谷和美さん

「専門外のことでお勉強し、お客様に情報提供し、喜んで頂けたときに感じることは、もっと「レベルアップ」を回り、質の高い情報を提供をしなくては」と痛感します。これを克服することで、お客様との信頼関係が築かれることが一番の喜びです。

D-11

合同会社スプリングブリーズ

春風船蕩／最高の親孝行を支える仕事

盛岡市

当社は、高齢者・障がい者の方を中心に訪問介護・住宅型有料老人ホーム・デイサービス・訪問看護などの在宅介護サービスを提供する会社です。

「最高の親孝行を支える」私達は、利用者様を中心にご家族、医師その他関わる全ての人をサポートし、ご家族の「もっと親孝行すれば良かった」をなくします。介護の専門職集団にはそれが出来ると信じています。

「春の風がそよそよと気持ちよく吹いている」私達は、クライアントや同じチームの一員とそんな風に接します。話し好きな先輩たちが新人をすぐチームの一員として迎えます。中途入社が多く様々なバックボーンを持つ職場の仲間は意見交換が活発で、多様な価値観による刺激を受ける環境です。

当日ブースでは当社セカンドライフはるかぜ「最高の親孝行」を支える仕事を中心に、若手社員からの話しなどのプレゼンテーションを行う予定です。また、インターシップ（高校・専門・大学生向け）や、企業見学「スプリングブリーズ Workers Style Café」等について、ご案内いたします。



若手社員の声



訪問介護事業部
ヘルパーステーションはるかぜ
吉田 友香さん

私は、利用者様がやりたくても出来ないことをサポートする仕事をしています。大変なことも様々ありますが、利用者様から感謝の言葉や、利用者様のフツツとした笑顔にやりがいを感じ日々働いています。

D-12

中央介護センター有限公司

久慈地域の新しい介護サービスを目指して！

久慈市

当社は久慈市内の和食レストラン「おおみ屋」を親会社にもつ、民間介護サービス会社です。

始めは、これまでお世話になった地域の方々のお役に立ちたいという漠然な思いでスタートしましたが、「介護でやってはいけないこと」から学ぶことができたおかげで、創意工夫しながら多くのことにチャレンジしてきました。

そして、現在私たちは異業種とネットワークをつくり、つながりを持った施設運営を目指しています。知らない世界はたくさんありますから仕事以外にも興味を持ち、地域のコミュニティや団体活動への参加などで交流の幅を広げることで、「こうでなければいけない」という固定概念を取り除き、地域の方に求められる介護サービスを生み出していきたいと考えています。

また、実際にサービスを提供するスタッフ自身がいきいきと活躍できなければ、満足いただくサービスの提供はできません。そのために、スタッフの声を事業運営に生かしながら、働く環境づくりにも邁進しています。



若手社員の声



グループホーム2
菅原 将行さん

お年寄りが好きです！20代・30代の若手スタッフも多く、温かい雰囲気魅力です。良くも悪くもこれからの施設だと思っているので、できるだけ良い方向に進んでいるように日々働いています。

D-13

医療法人 日新堂

地域に信頼される医療・保健・福祉の提供

盛岡市

医療法人日新堂は101年目を迎えた長い歴史があり、病院・診療所・介護老人保健施設・訪問看護ステーション・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所などを運営しております。地域の人々の病に向き合い、その必要性に応じて様々な事業を展開し地域とともに成長してきました。その職場風土は、地域住民を何より大切に進めてきた、「医療・保健・福祉サービス」の丁寧さと等しく、やさしさにあふれています。職員は、勤勉さと、何にでも挑戦しやり遂げてしまうバイタリティーを併せ持った人達が多く在籍しています。職員の健康を守るために、職員健診の受診率100%、特定健診、二次検診受診勧奨及び支援を実施しています。教育・研修にも力を入れ、緩和ケア認定看護師も誕生。各専門職に在っては職能団体学会、研修会、教育現場等で活躍しています。勤務体制は、長時間労働の解決を図り、地域の特性を踏まえた勤務体制を実現しました。今後も、働きやすい職場作りを進めるとともに、自ら学び、チャレンジし、成長する職場を目指します。



若手社員の声



看護師 看護師
阿部 菜奈美さん

地域の方々に寄り添い医療の提供をしていく中でたくさんの学びを感じています。様々な研修や院内勉強会等、知識を増やす機会も多く自らのスキルアップへも繋げていけます。患者様に寄り添った看護をしています。

D-14

株式会社ポーラ岩手センター

一人ひとりを尊重し

愛あふれる関係を築いていきたい

盛岡市

株式会社ポーラは、1929年に創業し、今年で88周年を迎えます。始まりは、創業者の奥さんのために作ったハンドクリームで、それからは「美しくなるため」の外側、内側からのケアを行える企業に、と成長してきました。エステ部門で2017年のオリコンのお客様満足度1位にも輝いており、自信につながっています。海外進出も顕著で、売り上げていくとグループ会社の中ではポーラが一番多くなっています。ポーラには、ビューティディレクターという職業があります。ビューティディレクターは全員個人事業主であり、自分のペースにあった働き方ができることが魅力です。社員の主な仕事はビューティディレクターとの連携、間接的なサポートです。ビューティディレクターの頑張りを評価する場や、研修は手厚くなっています。女性が多いことから、子育てへの理解もあることが魅力の一つです。これらに向けて行なっていることとしては、インターンシップに参画することで、学生さんの将来の働き方へのいい影響を期待しています。



若手社員の声



フィールドカウンセラー
奥山 美有さん

ポーラの魅力の一つは商品力の高さに自信を持っていることです。研究力も高いことから、スキンケアによってお客様に合った化粧品を提供できます。また女性への理解があるビューティディレクターという働き方は、新しくもあり画期的と感じます。

D-15

特定医療法人 盛岡つなぎ温泉病院

温泉力 リハビリテーション！！

盛岡市

当院は盛岡市の西に位置し、御所湖畔にあり自然あふれる環境で療養できる病院です。盛岡地区二次救急輪番病院の1つとして、入院から在宅まで継続したケアを行っています。急性期一般病棟・回復期リハビリ病棟・療養病棟合計170床、訪問診療・訪問看護も行っています。“思いやりのある心で、信頼される優れた医療を提供します”という病院の理念を持ち、あらゆる病期の患者さん・ご家族に寄り添い、その人らしい生活ができるよう多職種が力を合わせ患者さん中心の医療を提供しています。また、働きやすい職場作りの一環として、ワークライフバランスや子育て支援に取り組み、職員のライフサイクルに合わせて働き続けることができるよう支援しています。教育制度は、新人看護師研修、経験に応じた研修等があり、入職してから安心して働くことができるよう新人看護師・中途採用看護師に専任の指導者を決めて指導を行っています。教育支援制度としては専門看護師・認定看護師取得や院外研修参加の支援もしています。職員がやりがいを感じながら働けるよう努力しています。



若手社員の声



看護師
米澤 凌郁さん

看護師は患者さんが治療やリハビリを行う中で病気が日々良くなっていることを実感できる仕事です。亡くなる患者さんを見て辛い時もありますが、元気に退院する姿を見ることでとてもやりがいのある仕事だと感じます。

D-16

盛岡市立病院 看護部

「看護で選ばれる病院」を目指そう

盛岡市

当院看護部は、病院の基本理念である「やさしさといわりのある病院」「信頼され優れた医療の病院」「開かれた地域医療のための病院」に基づき、患者さんの人権を尊重し、満足して頂ける看護の提供に努めています。そのための人材育成は組織の財産作りと捉え、集合教育と部署教育の統合性を大切にしています。院内研修は新人看護師対象の研修はもちろんですが、キャリア開発ラダーのレベル別研修や各委員会主催の研修などを実施しています。また、院外研修や学会発表・参加にも積極的に支援を行い、看護師個々のキャリア開発をサポートしています。部署の教育体制は、新人看護師1人にプリセプターを1名配置し、さらに教育担当者、主任看護師(看護師長補佐)、看護師長と屋根瓦式体制とし、部署全体で新人を支え、育てる環境を整備しています。看護師は、人の生命や生きがいに関わる責任のある職業であり、また自己のキャリアを磨き、人として成長できるすばらしい専門職です。



若手社員の声



地域包括ケア病棟
菊池 藍さん

入院時、具合が悪く辛そうな患者さんが、治療や看護ケアの提供により元気になって笑顔で退院される時に、やりがいや喜びを感じます。また、より良い療養生活のためにスタッフで話し合うのも楽しいです。

D-17

株式会社 薬王堂

お客様に喜んで戴ける店を作ろう

矢巾町

薬王堂は岩手県紫波郡矢巾町を本社とした、東北各地域に展開しているドラッグストアです。東北エリアに 235 店舗（2017 年 9 月現在）展開しており、医薬品・化粧品をはじめとした高い専門性と、食料品や日用品・衣料品などの生活必需品を取り揃えて、より低価格で提供する「何でも揃う便利な店舗」です。薬王堂の特徴は、小商圏バラエティ型コンビニエンス・ドラッグストアという独自の店舗モデルを構築し、人口 7,000 人程度の小商圏でも成立する店舗展開をおこなっております。

東北地方は「少子高齢化」「人口減少」という大きな課題に直面しており、健康へのニーズがますます高くなっています。そのなかで当社は岩手県を中心とした東北エリアに特化し、地域の皆さまの「美」と「健康」と「豊かな暮らし」の実現に貢献することを使命として活動しております。

2014 年 10 月 1 日に岩手県内の小売業として初の東証 1 部上場、2016 年 5 月には厚生労働省から女性の活躍が優れている企業におくられる「えるぼし」で最上級の 3 つ星に認定をいただきました。



人事部
階 香織さん

薬王堂に入社し、登録販売者資格というお薬を販売できる資格を取得しました。その資格を活かして、お客様のお悩みにこたえ、感謝された時が一番嬉しいです。地域の皆さまのお役に立っていると実感できる瞬間です。

若手社員の声

D-18

社会福祉法人 悠和会 銀河の里

『銀河鉄道の夜』の様な自分の物語を綴ろう

花巻市

今年で 17 年目を迎える銀河の里は、開設当初は認知症のケア施設としてスタートしました。かつての日本の農家の大家族をイメージし、様々な運命を抱えた人のエネルギーと地域の特色を最大限に活かして未来志向の福祉に取り組んできました。福祉施設でありながら介護は禁止、「人と人が繋がる通路」と言って、利用者職員と共にチャレンジしています。出会いや関係から生まれるプロセスは芸術的であり、哲学的で人間の生きるステージを無限大に引き出しているようです。一方で障がい者の就労支援として行っている農業は、日本の農家が衰退しているなか、地域の耕作放棄地を請け負うなど新たな担い手になるだけでなく、地域の伝統を受け継いでいく大切な役割も果たしています。農業事業では、自家農園で収穫したものを加工し、販売まで行い、シールドは某全国誌のお取り寄せグランプリにて準グランプリを獲得するまでに至っています。答えを求めめる現代の波の中で常に問いかけ、新たなステージを作り上げようとしています。



佐藤万里栄さん

若大で美術を学んだ私が、就活中に会った銀河の里に惹かれ入社。広報紙の表紙を担当し、今年は展覧会を開催、芸術部門のプロデューサーをしています。人間の深いテーマを描く面白さや表現する使命を感じています。

若手社員の声

D-19

ロッツ株式会社

被災地の医療介護事業を日本のモデル事業

大船渡市

ロッツ株式会社は東日本大震災直後に結成された有志ボランティア団体の活動が事業化されたことをきっかけに 2011 年 8 月に法人化した企業です。陸前高田でプレハブの薬局を開設したことを皮切りに、気仙地域で初めての訪問投薬を実行し被災地の在宅医療の推進に貢献してきました。

2012 年 5 月には復興特区第一号の事業として日本初の「単独型訪問リハビリステーション」を開設し、今では地域に必要な不可欠な存在になっています。

2016 年 6 月には陸前高田市から指定管理を受け、一度は閉鎖された「玉乃湯」の運営を委託され、市民の健康向上に貢献する温浴宿泊施設として再建を図っています。今では観光資源の開発を、行政と共にまちづくり事業に参画しています。

2017 年 4 月には、陸前高田市の復興のシンボルである大型商業施設アパッセ内に日本初リハビリ特化型デイサービスとフィットネス事業を一体化させた施設を開設し、市民の介護予防活動にも全力を尽くしています。

ロッツ株式会社は単なる事業ではなく、町を創り、全国のモデル事業に着手し、波及効果を生み出しています。



とうごう薬局
管理薬剤師
名古屋 茜さん

小児科の門前薬局のため、子供たちの会話や子供たちの成長を見守ることができると嬉しくやがいを感ず。患者さんご家族との距離も近くなり、薬以外のことで相談のらせていただけることが多く役に立っていることを実感できます。子供からのお手紙や似顔絵などのプレゼントも、最高に幸せです！

若手社員の声

D-20

社会福祉法人 若竹会

「いたわり」と「やさしさ」を持って

宮古市

社会福祉法人若竹会は、昭和 50 年に知的障害のある方の施設を設立することで始まりました。それから地域のニーズに合わせて施設数を増やしていき、現在では障害分野だけで、県内で 17 ケ所、全体の職員数は 350 名を超えます。中でも宮古市にある高齢者介護施設サンホームみやこは、女性職員が 8 割を占め、女性の活躍が著しい企業でもあります。

介護職・看護職ともに、常に配置基準を超える職員数を配置できていること、もともと育児に理解のある職場風土であることで、産休・育休取得率と復職率は 100% です。

また、岩手県内において、複数の福祉種別（介護・障害・保育等）を行っている社会福祉法人は少なく、入社後約 3 年間の介護経験を積みながら実践で福祉を学び、やりがいを肌で感じることができ、キャリアを積んでいく中で自分にあった職種を見つけ成長できます。

地域貢献活動として震災間もない時期にはじめた「いどばたさろん」は今年で 7 年目を迎え、今も仮設住宅等で暮らす被災者にとって心の拠り所となっています。



生活支援員
寺崎 茉莉さん

若竹会の施設に就職をした決め手は、利用者さんとの距離が近く、家族のように利用者さんに関わっている職員が多いことです。私は自閉症の方々の部門に配属されましたが、毎日変化があってやりがいを感ずています。

若手社員の声

E-01

岩手県漁業協同組合連合会 公益財団法人岩手県漁業担い手育成基金

盛岡市

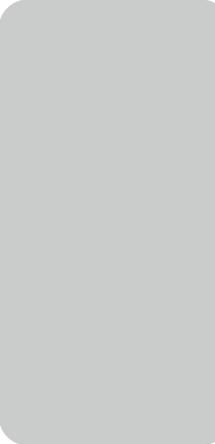
漁業に興味がある人・情報が知りたい人へ！

本県沿岸及び沖合海域は、世界有数の豊かな漁場として知られ、ワカメ等の海藻類のほか、ホタテガイ・カキといった貝類等の養殖を行う養殖業、サケ・ブリなどを漁獲する定置網漁業、そしてイカ・サンマ等を漁獲する漁船漁業など様々な漁業が営まれています。

本県の沿岸域は平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により壊滅的な被害を受けましたが、現在では漁業関連施設も概ね復旧し、意欲ある漁業者・水産関係者の地道な取組みの下に、水産物の生産量等も徐々にではありますが、震災前の状態までに戻りつつあるところです。

本県漁業関係者は今、漁業の更なる発展に向け、多くの意欲的な取組みを進めています。

これからの岩手の漁業の担い手として、あなたも漁業そして漁業関連の仕事などについて学んでみませんか？



E-02

岩手県森林組合連合会

盛岡市

森林資源を賢く使い、いわての林業を活かす仕事

森林は、私たちの生活を豊かにするかけがえのない環境資源です。岩手県は、本州における森林面積が1番多く、県土の77%が森林であり、全国的にも林業木材産業が発達しています。その中で、地域の森林組合は、木を植え、大事に育てることで森林の持つ公益的機能を高め、成長した樹木は伐採・販売を通じて、山林所有者及び地域経済への大きな貢献をしています。

岩手県の森林資源の魅力は、なんといっても木の種類の多さです。針葉樹のスギ、アカマツ、カラマツにはじまり、広葉樹に至ってはナラ、クリ、クルミ、セン、ケヤキ、サクラ等々と多種多様です。そのため、他県にはまねのできない特徴を出すことができ、県産材で素敵な家を立てることも可能です。

私たち岩手県森林組合連合会は、森林資源を賢く使い、林業を活かすために、様々な関係団体等と連携をしながら、いわての魅力を高める仕事をしています。



若手社員の声

木材部 直販グループ
田屋 吉英さん

私の部署では、広葉樹・針葉樹の丸太を幅広く扱っております。丸太は、同じ樹種でも一本一本の特徴が異なるため難しがありますが、そこが木の面白さでもあります。先輩方から日々指導をいただき努力しております。

E-03

JAいわてグループ

盛岡市

耕そう、大地と地域のみらい

JA とは、相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された協同組合です。この目的のために、農業生産に必要な肥料や農薬などの資材を共同で購入したり、米やトマトなどの農産物を共同で販売したりしています。JA の組合員である農業者は、消費者でもあり、日常的な生活物資の提供も行っています。また、貯金・貸出などの信用事業や、生命・建物・自動車等の共済事業、高齢者福祉、健康管理、旅行など幅広い事業を展開しています。

本県は、7つのJA（JA新いわて、JAいわて中央、JAいわて花巻、JA岩手ふるさと、JA江刺、JAおおふなど、JAいわて平泉）があり、県内すべての地域を網羅した組織です。また県域組織として5つの中央会・連合会（JA岩手県中央会、JA岩手県信連、JA岩手県厚生連、JA全農いわて、JA共済連岩手）があり、各地域のJAと共にJAいわてグループを構成しています。

農業をやりたい、農業に興味がある、農業について知りたい、将来農業を支援したい方を全力でサポートします！



若手社員の声

JA岩手県中央会
岡田 雄太郎さん

日々勉強の毎日で大変ですが、その分農業者の方の支援や発展に貢献できるので非常にやりがいがあります。農家の所得を増やすために邁進できるこの仕事が大好きです！！

E-04

イオンアグリ創造株式会社 岩手花巻農場

花巻市

農業の発展とお客さまの価値を創造する

イオンアグリ創造株式会社は、私たちが普段イオンやマックスバリュで一度は目にしたことがある野菜類を生産している農場であり、現在全国 21 箇所に展開して自社ブランドの生産を行っています。

この農場の魅力の一つは、とれたての野菜を農場からダイレクトに出荷していることにあり、これは全国 21 箇所に農場を展開しているからこそできる仕組みであり、この仕組みにより私たちの食卓に新鮮でおいしい野菜が並ぶこととなります。また、GLOBAL G.A.P（以下 GAP）という世界認証を受けた生産管理体制を敷いているため、安全・安心な野菜の生産となっており、品質と安全性の両立が為されています。

このような“お客さま”を考えつくした生産体制と併せて、イオンアグリ創造岩手花巻農場では今後、自社発展と共に GAP 取得の先駆けとして、他農業生産者へ取得促進のコンサルティングを行っていくことで、岩手県内の農業の活性化も目指しています。



若手社員の声

GAP 認証を受けているため、職場が管理されていて清潔感もあり、また、仕事に関しても周りの方が優しく指導してくれるためとても環境の良い職場です

E-05

株式会社 岩手ファーム

岩手の豊かな自然から生まれるたまご

盛岡市

岩手ファームには、前身となる中村農場という会社があります。当時創業者である中村社長は終戦を経験したことから、「お腹いっぱい食べられる社会にしたい」という思いを持って中村農場を設立しました。盛岡市下田地区の地域の方々に支えられながら一度は倒産してしまいますが、負けたくないという思いで、再起を図り設立したのがこの岩手ファームです。現在、岩手ファームで働いているおおよそ 200 名の従業員は、農業高校を卒業して農業に触れてきた経験の深い人から、医療系専門学校を卒業して今まで農業に関わってこなかった人まで、さまざまなキャリアを持っています。10～70 代の幅広い年齢層でありながらとても仲が良く、部署の垣根を越えて協力してお仕事をしています。平成 18 年度より、岩手ファームの近隣地域の農家さんが生産した「飼料米」を、岩手ファームで飼育している鶏のエサにすることを始めました。飼料米の生産には岩手ファームの鶏糞を肥料として使っていただくなど、相互に関係を持っており、地域とのつながりを大切にしたい会社です。



若手社員の声

総務部
伊藤 安奈さん

岩手ファームは本社周辺の環境整備がされており、景観が美しい所が特徴です。庭の池ではチョウザメを飼っています。他部署間でも社員同士の仲が良く、お花見や新年会、忘年会、貼を食べる会などのイベントを楽しむことができます。

E-06

株式会社 岩手畜産流通センター

ひとつひとつに、おいしい笑顔

紫波町

「いわちく」は、生産者の皆様から仕入れた牛や豚を処理・加工し、消費者のもとへお届けする社会的役割を担った総合食肉企業です。取扱頭数は、牛で年間 2 万頭、豚で 30 万頭に及びます。海外への牛肉提供も手掛け、対米国への輸出は東北では当社のみであり、全国でも上位の衛生水準と規模を誇ります。現在 2020 年の完成を目指し、より衛生基準の高い豚肉の生産ラインを建設中です。安全・安心は、「いわちく」ブランドの核。よりよい製品を生産・提供し続けることは、岩手の畜産業の振興にも繋がり、食肉の安定供給にも繋がるものだと確信しています。

また、主な社内行事として、5 月に新入社員を、県産食材を思う存分味わえる当社直営店の「銀河離宮」へ招待。そして、毎年 11 月に「いわちく感謝デー」が行われ、多くのお客様にお越しいただいております。この時は従業員一丸でお客様におもてなしをし、従業員も一体感を得られる瞬間です。また、食育活動の一環とし、多くの学生・生徒さんに対し、工場見学・インターンシップの受け入れを行っています。



若手社員の声

加工部商品開発課
宮崎 真緒さん

はじめは工場でのハンバーグやウィンナーの作り方やルールがほとんどわかりませんでした。ひとつずつ商品や仕事のやり方など新しいことを覚え、自分で試作ができるようになってきたことが仕事の楽しいところです。

E-07

岩手大学農学部水産システム学 水産食品加工学研究室

美味しい水産物をもっと食べましょう

盛岡市

日本の水産業は、資源減少や漁業者の高齢化、水産物のグローバル化による国際競争などにより、非常に厳しい現状にある。

また、近年食の多様化で、大人も子供も好きなものしか食べない傾向が強くなる現在、魚離れという現象が近年危惧されてきました。一方健康志向の高まりで、世界の水産物の消費量は年々増えている。

本研究室は三陸ブランド水産物を高品質、適正な価格で消費者に届けるために、魚類の鮮度維持、高品質化の技術研究を行っている。特に魚食の消費拡大のために、日本で盛んな麺文化と魚食文化を融合させ、「ファストフィッシュ」という手軽・気軽においしく食べられる新規製品（魚麵を含む）の開発する。そして三陸新鮮な水産物を利用し、三陸ブランド新しい食文化を創出する。また食育の観点から、学校給食または高齢者向けの「安全」、「健康」、「栄養」、「おいしい」、「便利」な新規製品（魚麵を含む）のメニュー開発を進める、これにより水産物の地産地消の促進を図り、「街連連携」を促したい。

魚食消費拡大のための魚麵の研修会



学生の声

水産物の鮮度維持をしながら、その機能性を活かして、新製品の開発は楽しい。

E-08

岩手県農業公社

みんなで支える岩手の農業

盛岡市

岩手県農業公社は、農地の売買や貸し借り・就農支援・畜舎や農地の整備を主な事業としています。水田の水はけを改善するために開発した INK 工法では特許を取得するなど、実際の農業現場に寄り添いながら、岩手県の農業がより良いものとなるよう支えてきました。

業務では県内の様々な地域に赴くことができるのが魅力の一つです。市町村や農家の方々と実際にふれあうことで、自分の仕事かどのように役立っているのかを実感することができ、やる気にもつながります。また、農地の売買に関するものなど事務の分野を活かした業務も多いため、農業の技能がなくても農業への関心があれば活躍できるのも魅力です。

現在は、農業現場に触れる機会を増やし理解を深めてもらうための取り組みにも力を入れており、インターンシップや 1 日体験などを積極的に行っています。



若手社員の声

就農支援部
吉村 親さん

就農支援の仕事を通して、農業に関わりたい人と農業とを結びつける仕事をしており、上手くマッチングした時には喜びを感じます。人の人生に関わるという責任感とやりがいをもって支援に取り組んでいます。

E-09

株式会社岩手エッグデリカ 株式会社サラダファーム

八幡平市

食と癒しの空間 岩手八幡平

株式会社サラダファームは平成 20 年に(株)岩手エッグデリカより分社した比較的新しい会社で、野菜や花などの生産からそれらの加工、販売まで行っています。試行錯誤しながら作物を育てたり、レストランや販売店での商品の提供など、多様な業種の方が働いています。地元の新卒の方を積極的に採用しており、若い方が多く、トマトの栽培部門を例に挙げると、ほとんどが女性で、中には年齢 27 歳と若くして中心となって活躍している方もおります。

会社では年に一度、お世話になっている取引先の方を招待し、「感謝祭」というパーティーを開催しています。普段は別の業務につく方と協力しておもてなしすることで、社員同士の交流をする場にもなっています。また、地域の活性化のために人が集まるようなイベントを開催したり、県内でお弁当やスイーツなどの販売も行っています。いわて S-1 スイーツフェア 2017 では自社産のいちごを使用した「いちごの森クリームエクレア」が見事優勝しました。



若手社員の声

熊谷 真鈴さん

自社のデザイナーのアシスタントをしながら、ポスターや案内板のデザインをする仕事をしており、自分の描くイラストなども用いて、分かりやすく可愛いデザインになるように考えています。また、動画制作の方も研修をし、今腕に磨きをかけています。ホームページの制作も自分の所属する部署で行っており、現場に出たとき、お客様に喜んでもらえるのが嬉しいです。

E-10

菊の司酒造株式会社

盛岡市

和の酒

現在で十六代目となる菊の司酒造の歴史は江戸時代にまでさかのぼります。かの徳川家康が大坂夏の陣を行ったのと時を同じくして伊勢松坂(三重県)より志和に移り住み宿を興したのが初代平井六右兵衛でした。初代から六代が経ち、その地で酒造りを始めました。岩手の中心地に移ったのは大正末期の頃でした。歴史を感じる街並みの中にある酒蔵は岩手で一番古く、その蔵の裏には中津川が流れ最高のロケーションのもと酒造りに励んでいます。さらに若い人が携わり始めていることや地酒専門店が増えていることで若い担い手も増えています。また酒蔵には七月初めの醸造年度があり、年度初めには BBQ をして英気を養います。間もなく酒造りの最盛期に入る菊の司は今までの伝統を引き継ぐことはもちろん、時代のニーズに合わせ新たなことにチャレンジしていきます。より多くの方に知ってもらい楽しんでもらいたいという思いで今春に商品をリニューアルしたのも、その一つです。



若手社員の声

製造 漆原 由美紀さん

日本酒が好きで、好きなものに携わられていることが幸せです。内定を早くいただき大学四年の七月頃から週に二日のペースで酒造りの勉強にきていました。大学新卒は初採用で女性の蔵人としても今後が楽しみな職人です。

E-11

サンコー食品 株式会社

大船渡市

大船渡からおいしいイカを全国に発信する！

三陸・大船渡から全国に向けておいしいイカを提案・製造・販売しています。私たちが手掛けたイカを皆さんがよく立ち寄るコンビニやスーパーマーケットなどで、もしかしたら既に召し上がっていただいているかもしれませんね(笑)従業員数 40 名程度の小さな会社ですが、国内はもちろん世界中から主原料のイカを仕入れて日本全国のお客様のニーズに合ったイカを製造販売しています。昔から日本人は魚が大好きです。なかでもイカはよく食べられる食材で、お刺身やお寿司、天ぷらやフライ、唐揚げ、中華丼やお好み焼き、ピザやパスタなど多くのメニューでイカは大活躍しています。『イカなんて』って今思っちゃったあなた！イカの様相がたいへんお怒りですよ。イカに興味があってもなくても、実際にインターンしてました米内佳奈子さん(盛岡市出身 大学2年生)とのトークセッションもありますので、サンコー食品のブースで皆さんをお待ちしております。



若手社員の声

品質管理室 米内 佳奈子さん
(2017 春 インターン生)

以前より興味があった食品の品質改良や開発業務に携わり更に将来の選択肢を広げることができました。会社の方々が一緒に悩み、考え、とても心強い環境でした。大船渡が第二の故郷のような素敵な場所になりました。

E-12

株式会社 十文字チキンカンパニー

二戸市

人・動物・環境の健康を考える

鶏肉の生産量が全国第三位の岩手県。その約 50%を生産し、半世紀以上にわたって岩手の一大産業に携わり、多くの人の暮らしを支えてきたのが十文字チキンカンパニーです。岩手県で No.1 の十文字チキンカンパニーは実に面白いことだらけの会社です。まず、一番に目が行くのが壁に直筆のコメントが書いてあること。そして何より県北部にある各事業所の総合職約 160 名が一人一回、毎週更新する社内ブログが存在すること。各事業所は県北部に点在していますが、実際には連携が重要で思いの共有を常にしたいという願いから 10 年以上前から始められたそうです。内容は様々で自分の失敗すらも共有しています。また、何かお世話になったらブログに書いて伝えるサンクスカードというものもあり、とても暖かみのある大家族主義な雰囲気を感じました。今後は全国最大級に増設した久慈工場と並行し農場も増やし、岩手としても一番に、暖かみの中にある情熱をさらに燃やし続けます。



若手社員の声

生産部 生産三課 主任 田畑 大貴さん

風通しのいい社内環境に惹かれました。日々のトラブルを乗り越え、自分が担当している農場から感謝されると、さらにモチベーションが上がります。また、大学生からドラムも続けていますが、色々なことに挑戦して自分自身の魅力を高めてほしいです。

E-13

有限会社タニムラフードサービス

久慈市

鶏肉生産量東日本1位を支える「協力会社」

東日本1位の鶏肉生産量を誇る株式会社十文字チキンカンパニーは、十文字ブランドとしては一貫した生産体制で供給しておりますが、製造工程においては多数の協力会社が請け負っており、そのひとつが当社となります。

当社は、株式会社十文字チキンカンパニー久慈工場の協力会社として生鳥が鶏肉になるまでの前半分の工程を担っています。生鳥を製造ラインに懸け、屠殺、脱毛処理から砂肝、レバーなどの製品製造を行っています。また製品を作る製造ラインから、製品・人員・製造ライン機械設備の管理業務まで、幅広く作業しています。



若手社員の声



生鳥部
前川 優雅さん

地元就職したい！と思い、入社しました。現場では経験年数の長い先輩たちがサポートしてくれるので、とても心強いです。日頃の作業に加え、機械の操作やメンテナンスを学んだり、充実しています。

E-14

花巻農業協同組合 (JAいわて花巻)

花巻市

JAが守る日本の食と農、そして次世代へ

JAいわて花巻は平成10年3月1日に設立以来、来年に誕生20周年を迎えます。岩手県の中央部に位置し、花巻市・北上市・遠野市・釜石市・大槌町・西和賀町の4市2町を営業エリアとしています。JAは、農業を営んでいる人々と地域の人たちが出資して組合員となり、運営・利用する組織です。組合員がお互いに助け合う「相互扶助」の精神のもと、自分たちの農業や生活を守り高め、地域社会の発展に貢献することを目的としています。

JAいわて花巻の基本理念は「愛・農・土・いい土・いい水・いい心」。JAでは、組合員の皆さまが満足してご利用いただけるよう、信用・共済・購買・販売・生活福祉など総合事業を行う強みを活かした事業を開し、組合員の所得向上と地域コミュニティの活性化をはかっています。事業の中には、食農教育やグリーン・ツーリズム、高齢者の健康づくり、子育て支援、婚活相談など、くらしの活動にも積極的に取り組んでおり、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立をめざしています。



若手社員の声



生活福祉部
生活ふれあい課
山本 未未さん

(入組1年目)

食育をはじめ、色々な企画を行っています。段取りは大変ですが、終了後に笑顔で帰っていく参加者の姿や「ありがとう。助かった」という言葉にやりがいを感じます。人との繋がりが濃く、人のために働ける仕事です。

E-15

有限会社 早野商店

岩泉町

「フルーツほおずき」を岩手発世界行きの特産品に！

龍泉洞で知られる名水の郷「岩泉町」において、地元産の素材に拘った食品作りを行っています。柱となっているのは昆布巻や佃煮ですが、10年前から新たに取り組んでいるのが「フルーツほおずき」の特産品化です。このフルーツほおずきは豊潤な香りと独特の甘酸っぱさが特徴で、和食から洋食、スイーツまで幅広く使われる素材です。早野商店では、生果と加工品両方を出荷し県内外の料理人から個人のお客さままで販売しております。「フルーツほおずき」の日本での知名度はまだゼロに近いですが、ヨーロッパでは一般的な素材ですし、一度食べたら忘れられないその魅力は無限の可能性を有していると私達は信じています。

栽培から商品開発までを一環で行うことで、ブランド価値を上げつつ全国に普及を図り、ゆくゆくは「フルーツほおずきといえば岩手が一番」と言われることを目指しております。そして、最終的には世界に「岩手・岩泉発のフルーツほおずき」を売り込んでいくことを夢としております。一緒に「フルーツほおずきの夢」を追いかけませんか！



若手社員の声



早野 崇さん

とにかく新しいことに取り組むのが大好きな会社です。会社の規模は小さくても、立地的に不利な場所にあっても、知恵と工夫で乗り切っていけると信じています。チャレンジ精神旺盛な皆さんの出会いを期待しています。

E-16

株式会社 ベアレン醸造所

盛岡市

地域に根ざしたビールで、世界に発信！

2001年に設立された株式会社ベアレン醸造所は、準備などを経て2003年にビールを作り始めました。ベアレン醸造所のビールは、ヨーロッパの伝統的な醸造法を利用した独自の製法で作られており、方針としては、「地域の生活に溶け込んだビールでありたい」というものです。ここ数年で若いスタッフが増えておりまして、有志によるブランディングの活動が盛んです。最近力を入れていることとしては、ビールを使ってもらえる場の模索です。自社の敷地を利用したイベントなどを行うことで、岩手の地ビールの普及に貢献しています。さらに持続可能な社会への支援活動も行っています。ベアレン醸造所のスタッフに共通していることは、地元を誇りを持ち、愛する力を持っていることです。また、社員の「好き」を発信して来たのがベアレンビールです。社員の「好き」と皆さんの「好き」が一致したときが、嬉しい瞬間です。興味のある方、無い方もぜひ岩手の地ビールを知り、共感してもらえたら嬉しいです。



若手社員の声



マーケティングチーム
通販グループ
下村 太陽さん

ベアレン醸造所では、毎日朝9時から工場の前で円陣を組んでいます。掛け声は従業員が毎日違うものを考えて行っています。毎日この習慣から始まり、社員一丸となって、美味しい地ビール製作に関わっています。

E-17

みちのくコカ・コーラボトリング 株式会社

矢中町

これまで、これからも地域の皆さまと共に

当社は、昭和 37 年に創業以来、岩手、秋田、青森県の北東北 3 県を事業エリアとして、コカ・コーラ製品の販売を通じて地域のみなさまと共に発展してまいりました。

「いつでも・どこでも・誰にでも」高品質で安全な商品とさわやかなひとときを北東北の皆さまにお届けさせていただいております。

これからも地域とともに歩む企業として、幅広い分野で地域社会への貢献に取り組んでいきたいと考えています。

また、日本全国にあるボトリング社との連携や日本コカ・コーラ(株)をはじめとするコカ・コーラ各社との協働など、北東北にしながら全国、あるいは世界を感じながら仕事ができることも当社の魅力の一つだと考えています。



TASTE THE FEELING

若手社員の声



盛岡営業部
大澤 はるかさん
(岩手大学 2017 年度卒業)

私は今年入社したばかりの新社員ですが、先輩社員がとにかく親切で丁寧に仕事を教えてくれたり、たまに食事に連れて行ってくれたり毎日楽しく仕事をしています。

E-18

盛岡大学 栄養科学部 木村ゼミ

滝沢市

捨てないで！！りんごは全部使えます

盛岡大学栄養科学部では、地域で活躍できる知識と技能をもった管理栄養士を育成するための教育を行っています。岩手県を含めた北東北 3 県は、豊かな食資源を持ち、高い食料自給率を誇りますが、一方で、高齢化率は全国平均を上回り、脳血管疾患の死亡率が高いといった健康問題を抱えています。学生は、4 年間の学びを通じて、社会・環境の変化や地域の特性をふまえた栄養学的な課題を見つけ、専門的知識と技能を用いて、栄養管理・指導ができる実践的な力を身につけます。

今回の展示では、食を通じて地域の人々の健康に寄与するという課題に、新たな食品の開発と効果研究というかたちで取り組む木村ゼミの活動を紹介します。木村ゼミでは現在、リンゴジュースの搾汁残滓から作った、食物繊維を多く含むアップル・ファイバーを利用した食品とその効果について研究しています。これには、従来廃棄されていた、いわゆる食品ロスを減らす効果も期待できます。こうした研究活動について、ゼミ生が詳しくご説明します！



E-19

株式会社ユニバース

盛岡市 他

北東北で売上高 No.1 の食品スーパーです！

岩手県・青森県・秋田県に 57 店舗を展開する、地域密着型のスーパーマーケットです。私たちは、地域の「食」を支えるライフラインであるという使命感を持ち、地域の皆様にとって、最も必要な店であり続けることを目指しています。今年の 10 月に設立 50 周年を迎えます。お客様の needs と wants を的確に把握し提供すること、「鮮度・品揃え・価格・陳列・サービス」ひとつひとつのクオリティを上げ続ける努力をしてきたことが、これまで安定と成長を続けることができた理由だと思えます。

当日は、「スーパーが存在し続ける理由」や「スーパーだからこそ感じられる仕事の面白さ」、「どんな人だと小売業で活躍できるか」などをお話したいと思っています。ですが！！もしリクエストがあれば、どんなテーマでもお話しします。まずは、小売業のこと、スーパーマーケットのこと、ユニバースのことを知ってみませんか？



Universe

若手社員の声



ファル上田店
箱崎 裕人さん

この会社での楽しいことは、結果がすぐ数字でわかるという点です。自分の予想で売れる数を決め、次の日にはそれが正解だったか分かります。楽しく日々考え続け、自己の成長にもつながることが当社の魅力だと思います。

F-01

株式会社アート不動産

盛岡市

「お客様」「地域」「社員」にとって
良い会社を目指す

アート不動産は、設立 34 年の歴史を持つ総合不動産会社です。日本最大規模の賃貸仲介フランチャイズのアバマンショップネットワークに加盟し、当社の「アバマンショップ盛岡本宮店」が年間契約件数ランキングで 2014 年・2015 年・2016 年と 3 年連続で全国第 1 位に輝きました。不動産業は私達の生活に欠かせない「住まい」に関わり、様々なお客様ともお会いできる素晴らしい仕事です。

不動産業をベースとした「総合生活企業」への飛躍

賃貸仲介、売買仲介、賃貸管理などの不動産業をベースにしながらも、近年では 3 棟の高齢者住宅の運営や、相続コンサルティング、太陽光発電事業など、生活に関わる様々な事業に取り組んでいます。新しいことに挑戦し続ける企業風土です。

新卒社員や女性社員が活躍している職場です

即戦力を求める不動産業では珍しいことですが、9 年前より新卒採用を継続して行い、現在では社員の 52%が新卒出身社員となりました。また全従業員のうち、67%が女性従業員で、女性の執行役員も在籍しています。



若手社員の声



アバマンショップ
盛岡本宮店
佐々木 満瑛さん

衣食住の中の最も重要な「住」に携わることができます。人生において何度もない引越しに携わることは、その人の人生に関わる事と同じです。変わり続ける時代に対応し、お客様と真剣に向き合える会社です。変化を厭わず、自ら発信できる方をお待ちしております。一緒に頑張りましょう！

F-02

株式会社新鉛温泉 結びの宿 愛隣館

花巻市

旅館でも IT 化

1960年11月に創立しました。現在は3代目となります。旅館の魅力のひとつである仲居が多くいるため、女性の多い職場となっています。女性の仲居は日本の着物文化を尊重し、着物を着用しています。最近では男性の仲居も採用しています。愛隣館は「ウェルカムベビー」の宿として東北で初認定されました。赤ちゃん用の布団やオムツ替え放題に加え、離乳食やベビーバス付の貸切風呂もご用意しています。お子様の急な発熱時のキャンセル料のサービスなど、赤ちゃんの旅行デビューもサポートしています。旅館でもIT化を行い、効率化を図っています。

会計や受付などを機械に任せることで、その分お客様の写真撮影などのサービス・接客をより手厚く行うことができます。これからも「すてきな思い出創りができる」「お子様からお年寄りまでお楽しみいただける」宿づくりに邁進していきます。



若手社員の声



接客部
宮野 彩也さん

仲居として接客をしています。アンケートやネットの口コミですぐ結果が見えることがこの仕事の良いところです。お客様のサプライズが成功した時など、たくさんのお客さんの笑顔を見ることができた時にやりがいを感じます。

F-03

岩手県北バス (岩手県北自動車株式会社)

盛岡市

県北バスは、地域の皆様と共に走り続けます

私たちの事業は、地域の観光産業と密接な関係を有しています。旅行代理事業にも注力していますが、各種貸切バスや地域のターミナルと観光地を結ぶ路線バス・季節運行の会員バスを通じて、地元の皆様の観光旅行をサポートしています。また、国内各地や外国のお客様を地元にご案内する役割も果たしています。ホテルや遊覧船といった観光資源の経営も行い、地域との深い繋がりをベースとしています。私たちは、これからも地元のお客様に地域交通及び良質な旅行・観光の機会を提供し続けます。同時に、外国を含む遠隔地から私たちのエリアを訪れるお客様に、地域の魅力を存分に味わっていただくことの出来るサービスも提供し続けます。



若手社員の声



盛岡営業所
観光貸切事業部

阿部 真帆さん

入社当初は、指示された仕事を行うだけで精一杯でした。現在は運行計画の作成や窓口でのお客様の対応など仕事も増え、失敗も多々ありますが、自分自身が成長できていると感じる機会も多く、仕事にやりがいを感じています。

F-04

株式会社 岩手ホテル&リゾート

盛岡市

お客様に健康と夢をお届けする

株式会社岩手ホテル&リゾートは、盛岡と安比高原を拠点にホテルやリゾート施設を運営しています。ホテル事業は岩手の迎賓館としてスタートした歴史を持ち、51年目を迎えた現在でもその誇りを胸に、長い歴史で培われたチーム力と総合力の高さを強みに営業しています。

地域とのつながりも強く、食材や土産品などの仕入れを通して地元の経済に貢献していたり、毎年さんさ踊りにはお客様も交えて参加したりと、地域を盛り上げている企業でもあります。さらに近年では外国人旅行者の招致にも力を入れており、岩手全体の活性化に向けた役割も期待されています。

お客様に喜んでもらう、幸せになってもらうということを第一に考えるため、働く側も明るく前向きな姿勢が身につきます。また、様々なイベントの運営を通してその都度結果が出るため達成感や成長につながり、とてもやりがいのある仕事です。



若手社員の声



ウェディングコンシェルジュ
中田 愛美さん

ウェディングコンシェルジュの仕事では、新郎新婦様の想いを一緒に形にしていけることにやりがいを感じます。結婚式でご利用頂いたお客様が、また別の機会でもホテルに足を運んでくださるというようにご縁が繋がっていくのも魅力です。

F-05

株式会社 岩手めんこいテレビ

盛岡市

楽しく気持ちも明るくなるようなテレビ局

めんこいテレビは、平成3年に開局した、岩手県に本社を置くテレビ局の中では比較的新しい会社です。自社制作番組は、「mit みんなのニュース」「8(は)っぴーサタデー」「山・海・漬」「beatniks(ビートニクス)」など。中でも平成8年から約20年続く「山・海・漬」は、放送回数が900回を超える長寿番組となっています。また、「KANORI〜台湾原住民を愛した遠野の人類学者」など、岩手を飛び出し海外ロケで番組を制作することも(ほかにもドイツ、フィンランドなど)。平成29年現在、社員は61名。お互いに顔が分かっているので、連携の強さにつながっています。カーリングやランニングなどの同好会も盛ん。インターネットの台頭に影響を受けているテレビ業界ですが、若い方により視聴してもらえる番組づくりをしたいと考えています。それだけではなく、地元で根ざしたテレビ局として、高齢の方にも見てもらいやすい番組づくりも心がけています。



若手社員の声



報道部 アナウンサー
滝澤 悠希さん

めんこいテレビの社員は、発想が柔軟で、若手社員にも大事な仕事を任せられるところが魅力の一つだと思います。個性豊かな社員も多く、それでいて仲も良いことが仕事にも生かされています。

F-06

株式会社 岩手銀行

地域とともに

盛岡市

岩手銀行は、岩手県のリーディングバンクとして、創業から 85 年の永きに亘って地域の皆さまとともに歩んできました。仕事の魅力は、お客さまの悩みに寄り添い解決に向けたお手伝いができることや、地域活性の方策を考えて形にできることで、企業間の繋がりの創出や岩手の魅力を県外・海外に発信する取り組みなど新しいことにも積極的に挑戦しています。

さらに社会貢献活動にも力を入れており、被災企業の再建支援や次世代経営者の育成、再生可能エネルギーの普及や植樹活動の支援、金融教育などの幅広い活動を通じて、地域の豊かな「くらし・みどり・こころ」を支えています。行内ではワークライフバランスの充実に取り組んでおり、男性も女性も働きやすい環境が整備されています。特に女性が長く働ける環境づくりは厚生労働省から認定を受けるなど高い評価を得ています。



岩手社員の声

人事部
岩淵将知さん

人と接する機会が多く、お客さまの夢を形にできることにやりがいを感じます。職場は人間性豊かな行員が多く、働きやすい環境なのも魅力です。学生時代に身に付けた特定の知識や資格の有無は関係ありません。多様な人材が活躍しています。

F-07

株式会社岩手日報社

この地で生きる 心をつなぐ 岩手日報

盛岡市

皆さんは毎朝、新聞を開きますか？もし読んでいないならモッタイナイ。新聞には岩手の今、日本の今、世界の今が、分かりやすく整理されて載っています。「整理」されているのがポイントです。特に岩手の情報量については岩手日報がダントツの 1 位。試しにコンビニ店で 1 部買ってみてください。ネットにはない生きた情報が満載です▼就職活動を始めると、皆さん新聞を取り始めます。なぜか？その答えを探しに、ブースにお越しください。ひよっとすると「新聞は難しい」「ネットで十分じゃん」と思っているかもしれません。本当にそうでしょうか。就職活動している先輩に確認するのもいいでしょう▼岩手日報は、1876（明治 9）年の創刊から 141 周年を迎えました。全国紙、ブロック紙を大きく上回る県内ナンバーワンの発行部数を持つ「県紙」です。2016 年には、最新鋭の輪転機を備えた制作センター（印刷工場）が稼働しました。これからも、岩手に根ざし、郷土の未来創造のため、県民と同じ志を持ち、地域とともに歩みます。



岩手社員の声

北上支局
金崎 諒さん

入社 2 年目、本社報道部を経て、今秋から北上地域で取材しています。自分が手掛けた記事、写真に対して、反響があると、うれしくなります。記事に書かないことも幅広く勉強し、先輩にほめられることも増えました。

F-08

株式会社いんベクリーン

来年には創業 100 年を迎える歴史と
変わらぬ品質が魅力です

盛岡市

いんベクリーンは大正 7 年に【印部西洋洗濯所】として創業いたしました。その後 99 年に渡って地元岩手でクリーニング業を営み、高い知名度とお客さまからの高い信頼を得てまいりました。創業以来変わらない丁寧な仕事で変わらぬ支持をいただく一方で、多角的な経営も行っています。クリーニングで培った技術を活かしたリネンサプライや、ダスキンやコメダ珈琲のフランチャイズ店の経営、フィットネスクラブなど、幅広い事業展開を進め、今期も新規事業のスタートを計画しております。地域に信頼されるクリーニング事業と合わせ、会社のさらなる発展を目指しさまざまな事業展開を進めていきたいと考えております。若い世代に期待することは新しい事業を創っていくイノベーションマインドや、IT などを活用した現場の業務改善など様々ですが、どのように地域社会に貢献してゆかかを一緒に考えて実行できる人材を求めます。



岩手社員の声

得意先営業部
田代 優さん

2016 年 4 月に入社して、現在はお得意様からクリーニング品を受け渡しする得意先営業として先輩方から学ぶ日々を送っています。総合職として入社した事もあり、新入社員ながら様々な部署を経験させていただいています。4 月から 4 か月程ダスキン工場で働き、その後ダスキン営業部、本社の得意先営業部、リネンサプライ事業を経て、今に至ります。採用担当でもあった部長とは直接お話しする機会も多く、今は既存の得意先を回すルートの改善提案を課題として出されています。

F-09

岩手県

あなたの挑戦が、いわての次の一手になる

岩手県

岩手県では現在、東日本大震災津波や平成 28 年台風第 10 号災害からの復興、人口減少問題への対応など、様々な課題に立ち向かっています。また、岩手県職員の仕事は、文化・スポーツ振興、国際交流の推進、若者・女性活躍支援、農林水産振興、観光振興、医療・子育て環境の充実、インフラ整備など、非常に多岐に渡っています。幅広くキャリアを積む中で多くの経験や知識を得、人脈を築き、自分自身が成長できることも岩手県職員の魅力の一つです。さらに、世界に開かれた岩手の象徴ともなる、ラグビーワールドカップ 2019™の釜石開催や、国際リニアコライダー（ILC）の実現に向けた取組を、市町村や企業、大学、多くの関係者の方々と、固いスクラムを組んで進めています。重要な課題や様々な取組の一つひとつに真摯に向き合い、最善の策を導き出すことが岩手県職員の仕事であり、大きなやりがいです。

より良い岩手をつくるために、「次の一手」を一緒に考えていきませんか。



岩手社員の声

沿岸広域振興局経営企画部
大船湾地域振興センター
榎屋 晶子さん

やりがい
震災から復興するまちの様子を動機にしてくれる方がいること。
楽しいこと
休日にはあわびや牡蠣などの地域の美味しい海の幸を堪能できること。
地域の魅力を知る事で、仕事にも役立ちます。

F-10

有限会社 栄光商会

久慈市

「笑顔」にでえるシゴト

昭和48年に㈱ダスキンフランチャイズ事業に加盟し、地元で根差した企業です。「ダスキン事業」の更なる成長はもちろんのこと、介護事業に参入し、2015年11月に盛岡市内丸に「有料老人ホーム」を開業しました。更に、2020年度までに2か所の介護施設の開業を視野に入れています。「再生エネルギー事業」を2018年までに、具体的に展開します。人の成長を一番に考え、社員教育に重点をおいています。新入社員教育は、じっくり時間をかけ一つ一つ丁寧に指導しています。先輩社員との同行を多くし、仕事の段取りをしっかりと学習する時間を設けています。会社の雰囲気は、アットホームで、いつもみんなが笑顔で仕事をしています。人と人の「絆」を大切にする為に、親睦会「絆」や「若手の会」を開催。美味しい料理を食べながら相互理解を深めます。地域への具体的な貢献活動として、「障害者施設の方々の触れ合いを目的とした清掃奉仕活動」「ゴミゼロ運動の実践」「福祉まつりへの協賛」等を行っています。社内行事も豊富で、今後のイベントは、ソフトバレー大会にむけての「練習」、大忘年会の余興披露の段取りや練習を行います。社員が一丸となれる時間です。



若手社員の声



佐藤 舞さん

お客様から笑顔で「ありがとう」という言葉を頂いた時に、お客様のお役にたてて良かったと思いき感じます。この仕事をやることで、私自身も笑顔になり仕事を楽しくもっと頑張ろうという思いが強くなります。

F-11

大船渡市

大船渡市

ともに創る 三陸の地に輝き 躍動する大船渡

大船渡市は、人口3万8千人のまちで、夏は涼しく、冬にほとんど積雪が見られず、比較的温暖な住み心地の良いところです。

自然の美しさが自慢で、中でも特に有名なのが、リアス式海岸特有の景色を堪能できる基石海岸と、三陸沿岸最高峰である五葉山です。三陸復興国立公園や国の「名勝・天然記念物」などに指定されている基石海岸の断崖景観は圧巻で、「花の百名山」としても全国的に有名な五葉山からは眼下に広がる太平洋の雄大な景色が楽しめます。

また、大船渡沖合いの三陸沖は、世界三大漁場であり、四季折々多種多様な魚介が水揚げされます。中でも、さんまの水揚げは本州一！「さんまと言えば大船渡」と言われることを目指し、さんまら〜めんなどのご当地グルメ、世界初のさんま焼き師認定制度、さんままつりやバルウォークなどのイベントも盛りだくさんです。

大震災を乗り越え、市民一人ひとりが幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するため、市民一丸となって復興に向けて取り組んでいます。



若手社員の声



商工港湾部起業支援室
猪股 希さん

私が所属する部署では、地元企業の方からお話を伺う機会が多々あります。そこで新しい学びを得られる事や、大船渡市を盛り上げたいという皆さんの熱意に触れられる事が自身のやりがいに繋がっています。

F-12

株式会社 カワチ薬品

盛岡市 他

暮らしに溶け込む「メガ・ドラッグストア」

「医薬品にとどまらない多種多様な商品の提供を通して、お客様の健康で快適な生活を実現する」これがカワチ薬品の企業理念でもある「Pharmacy(薬局)・More(それ以上)」です。たくさんのMoreを取り揃えて、身近な場所で普段から皆様と共に、快適な生活の実現を目指して参ります。

お客様に愛される「最も身近なヘルスケアセンター」を目指して、健康を維持して頂けるように、薬剤師、栄養士などの各部門のスペシャリストである私たち社員がお客様のご相談に親身になってお応えして参ります。お客様の心に、生活に、欠かせない存在でありたい。地域に根付き、お客様の心にも根づくカワチ薬品を私たちは目指しています。



若手社員の声



店舗運営部
藤齋 誓也さん

岩手県出身、入社3年目です。自分の周囲には憧れの上司、頼れる先輩がいて、環境に恵まれていると感じています。また、同期ともよく連絡を取り合っていて、切磋琢磨できるのもカワチの魅力です！

F-13

株式会社 川徳

盛岡市

川徳はお客様の心に寄り添う接客が信条です

川徳は、慶応2年(1866年)創業者川村徳松が盛岡鉤屋町に木綿商を創業。以来“奉仕こそわがつとめ”を社是に、永くこの盛岡でご愛顧いただき今年で151年となります。明治8年(1875年)肴町に移転し、呉服・洋品雑貨・寝具・食堂など業容を拡大しました。昭和55年(1980年)現在の菜園地区に、第二の創業ともいえる新店舗を完成。平成元年(1989年)には盛岡緑が丘に「アネックスカワトク」をオープンさせました。最近では、駅中や地方にも進出しています。盛岡駅内にあります「カワトクキューブミニ」は、来るたびに新しい発見がある...そんな楽しさを提供するカワトクのショップです。また復興支援のひとつとして、キャッセン大船渡に「カワトク大船渡」を構えています。川徳は、今日までのご愛顧に感謝し、常に新しい価値の提案、高質なサービスの提供を目指し、「お客様にとって『最良の店』づくり」を通じ地域、社会へ貢献します。



若手社員の声



営業二部
紳士服用品課
遠藤 亮介さん

人と接することが好きということもあり、川徳へ入社させていただきました。実際にお客様への提案を気に入っていただいた時はとても嬉しかったです。目標を達成した時の達成感私の原動力となっています。

F-14

株式会社木津屋本店

盛岡市

地域の皆様と共に歩んできた会社

まもなく創業 380 年。
「オフィス用品の総合商社」として、地域の皆様のお役に立てるよう、時代に合わせて営業展開してまいりました。
官公庁・学校・民間企業の法人、個人のお客様向け、事務用品、事務 IT 機器（コピー機、パソコン等）、オフィス家具、印刷用紙といった取扱商品を軸に、選定・導入からアフターサービスまでのトータルサポートを提供しております。
お客様に親しまれ、頼りにされ、利用者目線に立った販売とサービスを心掛けて、お客様の課題と要望、トレンドを交えたオフィス空間を提案しております。
また、総務部のオフィスとなっている建屋は、岩手県指定の有形文化財で、築 180 年ほど（1834 年築造）経過しており、盛岡のまちと共に存続してまいりました。
来たる創業 400 年に向け、感謝と誠意を忘れず、地域の皆様と親しまれ、お役に立てる存在であり続けたいと思います。
社内においては、社員間で気軽に助け合うことのできる環境を目指し、プライベートでも、フットサルやリレーマラソン、BBQ などの社員交流を行っております。



若手社員の声



第二営業部
持丸 宗貴さん

営業として、自分から目標を持って、仕事に取り組みます。お客様を考え、自分なりの営業展開を行えるからこそ、お客様に喜んでいただけた際には、営業の面白さを感じることができます。

F-15

北上ロード株式会社

盛岡市

物流とライフラインを支えるエキスパート集団

当社は、創業以来、高速道路を主とする道路維持修繕会社として、「利用者の安全」と「北東北の物流を支えるライフラインの確保」を使命とする業務の最前線に立っています。特に震災以降は高速道路の重要性が広く再認識されるなか、その責任と誇りをもって働いています。高速道路の安全・安心・快適・便利の為、維持修繕を行うエキスパート集団です。

我々の業務は路面清掃や補修、植栽管理、事故復旧や自然災害対応等の突発的事案、冬期の除雪作業に至るまで多岐にわたっています。高速道路の最前線で行うこの仕事が、高速道路事業と社会や暮らしの向上を支えています。



若手社員の声



盛岡事業所
川越 純也さん

私は働いていく中で様々な資格を取り、それが作業に直結し自分が出せる作業の幅が広がる事に喜びを感じます。高速道路の補修・維持を行い、お客様が何の不安も考えず通行している姿を見たときにやりがいを感じます。

F-16

久慈琥珀株式会社

久慈市

GrowingTogether 琥珀と生きる

岩手県久慈市はバルト海沿岸、ドミニカ共和国と並ぶ世界三大産地。中でも久慈は 8500 万年前の中生代地層に眠る、極めて貴重なヴィンテージ琥珀の産地です。江戸時代には南部藩の重要な産業の一つとして栄え、往時、久慈は大勢の琥珀細工師たちで賑わったと伝えられています。私達久慈琥珀(株)は、琥珀の採掘・加工・販売まで一貫して展開する国内トップのジュエラーです。自社鉱脈・自社工房・自社店舗と全てを直営する琥珀専門企業は世界の中でもオンリーワンでナンバーワン。本社がある久慈の森では、琥珀博物館、採掘体験場、リトアニア館と、琥珀に関する学術・文化・交流など多様な事業も運営しています。また、大学や企業との共同開発に取り組み、琥珀が持つ新たな可能性を追求しています。



若手社員の声



営業グループ
平坂 鴻樹さん

全国各地のイベント運営を主にしています。もともと人と話すのが好きなので、色々な人と会えるのが楽しいです。

F-17

株式会社コメリ

盛岡市 他

世界を変える～未来を創るのはキミだ！～

私たちの使命は、『世の中の暮らしを豊かに変える』こと。その実現に向け、ホームセンター事業の枠を超えて、お客様の立場に立った商品開発や、インターネット、農業、リフォームなど多彩な事業に挑戦しています。また今後は、業界ダントツの店舗数を活かし、社会インフラとしての使命を担っていくことも大きな役割です。このように常に挑戦し続ける当社だからこそ、入社後にチャレンジできるフィールドは現在もなお拡大中です。

年齢や社歴に関係なく、若いうちから挑戦できる環境と、充実したキャリアサポート制度も用意。それらを活用しながら幅広いキャリアを積み、将来は一つの事業を担うスペシャリストとして活躍していただきます。



若手社員の声



ハードアンドグリーン 鉢田
店長
眞貝 匠さん

就職活動で流した汗は必ず自信へと変わり、社会人になっても必ず役立ちます。自信に満ち溢れた皆さんと働ける日を楽しみにしています。

F-18

三陸鉄道株式会社

宮古市

笑顔をつなぐ、ずっと・・・。

昭和59年(1984年)4月、全国初の第三セクター鉄道として、岩手県沿岸部の2つの路線(北リアス線 71.0 km、南リアス線 36.6 km)を走るローカル線です。平成25年には、NHK朝のテレビ小説「あまちゃん」の北三陸鉄道のモデルになりました。当社は、平成23年3月の東日本大震災津波で甚大な被害を受けましたが、被災から5日後には一部区間の運行を再開し、多くの方々の支援もあり、被災から3年後の、平成26年4月に全線の運行再開ができました。

また、平成31年3月(予定)には、JR山田線の釜石～宮古間の55.4 kmがJR東日本から経営移管され、路線延長163.0 kmの日本で一番長い第三セクター鉄道になります。当社は、通学・通院などの地域の皆さんの足としての役割とともに、観光地を結ぶ交通機関として、また、貫切列車で地域や企業の皆さんが楽しむことができる交流の場として、多くの皆さんに愛され、未来にわたり「笑顔」をつないでいく地域鉄道を目指しています。



運行本部北リアス線運行部
田母神 夏美さん

運転士を目指し訓練の日々ですが、自分が給油や給水、連結した車両がお客様を乗せて走っていくのを見るのはとても感慨深いです。三陸地域に密着した仕事ができ、地域の方々が声をかけてくださるのも魅力の一つです。

若手社員の声

F-19

雫石町 観光商工課

雫石町

あなたの心に思い出の一滴(ひとしずく)を

雫石町は、総面積609 km²、人口16,965人(H29年9月末現在)の町であり、東は滝沢市・盛岡市、西は秋田県仙北市、南は矢巾町・紫波町・西和賀町・花巻市、北は八幡平市に隣接しています。北東北の拠点都市である盛岡市には車で約25分の場所に位置しており、秋田新幹線で乗り換えなしで東京まで2時間30分で到着するなど都市部とのアクセスに優れています。町の基幹産業である農業においては米作を中心に野菜やわさびの栽培などが行われているほか、雫石特産地鶏の南部かしわや雫石牛の生産も行われており、豊富な食資源があります。また四季を通して桜や登山、紅葉、スキーなど様々な楽しみ方ができるほか、10のいで湯ではそれぞれ特徴のあるお湯を楽しむことができ、宿泊施設も充実しているのでゆっくり過ごすことができます。ほかに、5月～11月までの第一日曜日にはよしやれ通り商店街にて「元祖しずくいし軽トラ市」が開催されているほか、「いわて雪まつり」や「雫石よしやれ祭」など各種イベントが行われます。



観光商工課
安本 衣織さん

町民の方と触れ合う機会が多いですが、雫石の人は本当にあたたかいなと日々実感しています。わたしは生まれも育ちも雫石なので、少しでも雫石の方のお役に立てようもっともっと頑張っていきたいです！

若手社員の声

F-20

志戸平温泉株式会社

花巻市

はじける楽しさ、花巻KING

当社は江戸時代から続く、歴史の長い温泉宿です。現在では大型の温泉ホテルと、少人数向けの旅館の二つの施設を運営しています。

宿泊だけでなく婚礼や法要といったサービスも提供しており、岩手の皆様の思い出づくりのお手伝いもしています。また志戸平独自の「経営理念」が存在し、お客様と社員の両方が幸せになれる会社を目指しています。私達が目指すものは施設の良さに頼るだけではなく、明るく元気なサービスを提供することで、お客様には元氣になって帰っていただくことです。人を重視したサービスをすることで接客にあたたかみが生まれ、お客様に「また来るよ」と言っていたくきかけになると私達は考えています。

お客様を楽しませるコツは、まずは我々社員が明るく楽しい集団であることです。社員同士では同好会を組んでスポーツで交流したり、旅行に行つて親睦を深めたりしています。会社が開催するイベントではお客様と一緒に盛り上がりが、楽しんで仕事をしている会社です。



メモリアルバンケット部課長
佐藤 智哉さん

仕事で大事にしていることは、お客様ごとに異なる要望にしっかりと応えるということです。お客様に応えようとする思いと明るく笑顔で、一人でも多くの方に満足していただけるよう頑張っています。

若手社員の声

F-21

紫波町

しわみやげプロジェクト

紫波町

紫波町のおみやげを、若い力でつくります

今年7月、紫波町のお土産をつくるプロジェクトが立ち上がりました。紫波町には、米、野菜、果物といった農作物や、4つの地酒とワインなど、たくさんの資源があります。しかし、お土産として手軽に持ち帰れるようなものがほとんど無いという課題があります。現在、オガールを中心に町外からたくさんの人が町を訪れています。お土産を通じて、紫波町の良いもの・良いところを全国に発信できるチャンスなのです。町内の生産者さんや事業者さんと連携しながら、紫波町のストーリーを伝えるお土産を開発することが第1の目的です。

そして第2の目的は、学生を始めとした若者が身近な町のことを考え、まちづくりに関わるきっかけを得ること。現在、学生6名を含む19名で活動しており、今後さらに高校生や大学生のメンバーを増やしていく予定です。商品開発やイベント企画に興味がある方、スキルやアイデアがある方、本気になる仲間を探している方、などなど。紫波町でチャレンジしてみたい学生を募集しています(紫波町出身/在住でなくても構いません)。



紫波町役場 企画課
地域おこし協力隊員
平 真弓さん

紫波町には、想いを形にしようとしている人がたくさんいます。やりたいことは、やってみる。紫波町って、そういう町なんです。「学生」という期間はあつという間です。紫波町でワクワクすることやってみませんか？

若手社員の声

F-22

株式会社スズキ自販岩手

For many SMILES

盛岡市

～クルマで、岩手のお客様にたくさんの笑顔～

株式会社スズキ自販岩手は、岩手県全域を販売エリアに持つスズキ株式会社の直営代理店です。スズキの強みである軽自動車は、岩手においても日常の交通手段や農作業用として活躍しているなど、日常の多様なシーンに寄り添う自動車を数多く提供しているのが魅力です。

さらに地域密着の会社を目指した地域貢献活動として、月に一度、岩手の全店で店舗近隣の清掃活動を行っています。定期的に地域の美化に取り組むことで、社員の地域や環境に対する意識も高まっています。

社内は、年に2回開催されているレクリエーション等には幹部クラスの社員も参加するなど、社員どうしの距離の近さが魅力で、仕事で困った時に相談しやすい雰囲気にも繋がっています。さらに育児休暇等もよく利用されているなど、男女ともに働きやすい環境が整っているため、若手社員の離職率も低いことが自慢です。



若手社員の声



営業部
平山 真希さん

女性でも長く働けることや、和気あいあいとした社内の雰囲気の魅力を感じ入社しました。様々な世代のお客様と出会い、その方を知っている、ご満足いただけるものを提供できたときに、楽しさややりがいを感じます。

F-23

株式会社 菅文

二戸市

水漏れ一つから新築まで何でもお任せ下さい

平成26年3月に創業100周年を迎えたいわゆる老舗企業です。大正3年に塩とタバコの元売から始まり、時代の変化に柔軟に対応しながら、現在はホームセンター、石油製品販売、建築資材販売、リフォーム工事、便利サービスと住まいに特化した企業を目指しています。お客様第一主義を掲げ、社員一人ひとりがお客様のために日々汗を流しています。ホームセンターでは、独自の配達サービスとして1万円以上のお買い上げで無料配達を行ない、配達のついでに商品の設置やいらなくなった梱包材の回収も行なっています。続いて便利サービスでは、スズメバチの駆除や除雪等、「お客様の困った」を解決するためにどんな要望でもお聞きしています。これからも地域に根ざして、お客様の要望に誠実にお応えしていくこと、お客様のために汗を流すこと、常にお客様に感謝の気持ちを持つことをモットーに、全社員が活き活き働いていける会社を目指しています。(写真は当社 Mascot キャラクターのぶんちゃん)



若手社員の声



石油部 経理担当
米田 絢香さん

普段は事務に従事していますが、お店が忙しいときは現場にも入ります。事務とは違い、お客様から直接「いつも窓を拭いてくれてありがとう」と言われたときは仕事の疲れも吹き飛ばくらい嬉しくなります。

F-24

花巻温泉株式会社

花巻市

「温」

花巻温泉株式会社は、1927年に「花巻に東北の宝塚・・・」という、金田一国土が執念を燃やした大事業としてスタートし、以来多くのお客様に愛され、今年で90周年を迎えます。創業時からの経営理念である「お客様本位で、親切・丁寧」モットーに築き上げたサービスの質はニーズの多様化に対応する力があります。

働く社員の年齢層は幅広く、古き良き伝統を継承してきたエキスパート社員と、新しいことを取り入れ、更なる進化・改革を目指す若手社員が一丸となり、切磋琢磨しながら成長し合う職場環境となっています。

花巻温泉といえばインバウンド（訪日外国人観光客）の集客、プライダル事業に力を入れており、特にインバウンドに関しては、安藤昭代表取締役社長が花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会会長を務め、花巻市に多くの外国人観光客に訪れるよう誘客活動を展開し、地域活性化に繋げようと奮闘されています。

また、10年後に迎える100周年に向け、様々な戦略的計画を敢行するとのことで、大変活気のある企業です。



若手社員の声



プライダルチーム
ウェディングプランナー
川村 奈々さん

結婚式は一生に一度のビッグイベントということで、お客様のニーズに合わせて1から作っていくため、責任も感じますし、達成感も大きく感じています。社員の中には理工学部出身者や台湾出身者もいて、裾野の広さが自慢です。

F-25

株式会社 ベルジョイス

盛岡市

なくてはならない存在

株式会社ベルジョイスは、東北に展開するスーパーマーケットチェーンです。コンビニや大型店舗の台頭に対応するため、平成28年3月に、株式会社ジョイスと株式会社ベルプラスが合併し株式会社ベルジョイスが誕生、「岩手県シェアNo.1」を獲得しました。

現在、ベルジョイスでは顧客を獲得するため様々な工夫をしております。ジョイス本町店の例では、周りの古風な住宅が多いことから、スーパーの外観を地味で目立たなくする事で、地域に馴染み、親しまれるようにしています。また、クリスマスケーキのように、流行によって物が売れるという仕組みを作るため、イベントを企画するなど、論理的に戦略を考えております。

しかし、今後の課題として、競争の激化や人手不足が予測されます。これらの課題を解決するために、まず認知度不足を解消する必要があります。そのために、ちびっ子マラソンなどの大会スポンサーとなることで、多くの方に知ってもらおうと考えております。



若手社員の声



鈴木 彩水さん

盛岡短期大学にいた頃、就職説明会に行き、一番雰囲気よかったベルジョイスに決めました。今では仕事に責任を感じる事も多くなりましたが、後輩に新しいことを教えてるのが楽しいです。

F-26

株式会社マイヤ 仙北店

グッド・カンパニー

大船渡市

株式会社マイヤは1961年チリ地震津波の翌年に最大の被災地大船渡に「主婦の店大船渡店」として創業しました。当時の日本は戦後でアメリカから多くの文化が入ってきておりスーパーマーケットもその一つでした。その後、大船渡市を中心に店舗数を増やし現在の「(株)マイヤ」に商号を変更しました。規模を拡大する中、「盛岡で生き残れなければ岩手で生き残れない」との思いで次のステージを盛岡に決めました。生鮮食品、特に魚をうりに内陸部の店舗数も着実に増やしてきました。マイヤ創業50周年を迎え、更に事業を拡大しようとする最中、あの東日本大震災が発生。全16店舗あるうちの3分の1以上にあたる6店舗が被災。震災から6年が経ち二度の津波に屈することなく再び立ち上がったマイヤは、お客様一人一人の生活を守るべく安心・安全でおいしい商品を提供しています。また、健康にも考慮し減塩対策をするなど現代のニーズとともに発展、飛躍しています。



若手社員の声



古舘 浩希さん

スーパーの中にはさまざまな分野がありますが、マイヤでは仕事の指示が明確で従業員同士のコミュニケーションがとりやすく、とても居心地がいいです。また、夏休み、冬休みもあり夏休みには少しとおくまでドライブしました。

F-27

盛岡ターミナルビル株式会社

盛岡を、地域を変革

盛岡市

1979年4月に創立しました。弊社には主だった事業としてショッピング事業とホテル事業があります。「今年リニューアルオープンしたフェザン」新しくなったフェザンには、①駅ビルとして「ナンブモダン」をコンセプトに地元の人も愛する岩手・盛岡の良い物を発信する。②ファッションのフェザンとして、北東北初出店の店も。③地域のお客さまの生活に密着したデイリーサービスの充実。以上の3つのポイントを踏まえ、北東北No.1のショッピングモールを目指します。「一流の技と五感と笑顔とおもてなし」ホテル事業には、レストラン業・ホテル業・宴会業があります。ホテル内の様々な場所に岩手の県花である桐をモチーフにしたデザインや岩手の工芸品である南部鉄器を使用したりと、岩手をちりばめることで、ローカルイズムを演出しています。また、ソムリエや調酒師、レストランサービス技能検定1級取得者を含め、一流のサービスをお届けします。



若手社員の声



営業部
香木 なつみさん

とにかく楽しいです。社内には自分のデスクはないため、毎日違う席で、隣に座る人も変わるため、多くの人とコミュニケーションをとることができます。ショップ店員やお客様の「ありがとうの言葉」が活力の源です。

F-28

株式会社山人-yamado-

山の達人がもてなす癒やしのリゾート

西和賀町

2009年にグランドOPENした旅館「山人」は豪雪地西和賀にあります。「山人」は東北のちょうど中心に位置しており旅の疲れを癒し、英気を養う極上の安らぎを提供してくれます。構想から20年の歳月を費やした山人は社長自身がテントを張り自然に問いかけながら山の魅力を最大に活かせるように設計されています。またスタッフ自らが山に入り収穫したり自家農園で生産したりと地場物にこだわった食材をふんだんに使用しています。さらには、スタッフそれぞれの個性を發揮してほしいという思いからマルチタスクを採用しています。分業が主流になっているなかで先進的な取り組みで、スタッフが自立し、よりお客様に近い環境でお仕事することができています。平均年齢も25歳と若く、生き生きとした笑顔が出迎えてくれます。何よりもスタッフ自身が山人に惹かれ、山人のファンになり山人に尽くしています。



若手社員の声



佐藤 千明さん

はじめは関東で就職活動を行っていましたが、山人を紹介され惹かれてしまいました。やはり、お客様に笑顔で感謝していただいたときは、すごくやりがいを感じます。今後の目標はお客様に名前を覚えて帰っていただく、そんな最高のスタッフになりたいです。

F-29

株式会社レオパレス21

CREATIVE EVOLUTION

盛岡市

昭和48年8月にアパート販売会社として設立され、平成16年に東京証券取引所市場第一部に上場しました。社員は若い人が多く、20代から30代の社員が中心となっているため、社内は明るく、活気に満ちています。店舗には毎日色々なお客様がいらっしゃいます。そのため、毎日が勉強になることは魅力のひとつです。昨年7月には、他の会社と提携し「Leo Remocon」を新たに共同で開発・導入しました。このように、入居者様により先進的で安心・快適な生活を提供すべく、管理物件のIOT化を促進していきたいと考えています。私たちが事業を通じてお客様にご提案する価値も、人々の生活や社会・時代の変化に応じて常に変わっていかねばなりません。日々の出会いを大切に、柔軟な発想と活力のある全員参画のチームワークで当社にしかできない新しい価値を創造します。



若手社員の声



ルームアドバイザー
澁谷 葉央さん

お仕事ではたくさんの方の会社訪問もさせていただいています。その際に次の訪問に繋がった時は仕事のやりがいを感じます。また、お客様に「お部屋探し以外でもなんでも話せる」と言っていたいた時はとても嬉しく思いました。